

会議名	令和2年 第1回外部評価委員会
日時	令和2年7月7日(火) 18:30~21:00
場所	全員協議会室
構成員	壬生委員長、掛谷副委員長、尾川委員、木村委員、寺田委員 【事務局：森貞総務部長、行政経営室 藤原室長、高倉室長代理、太田総括主査、奥野総括主事、大家総括主事】
<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 委員の紹介 3. 市長から委員会への諮問 4. 外部評価実施要領について 5. 外部評価施策の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・評価施策の概要説明 ・質問票について 6. その他 <p>【要旨】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員総数5名に対し、5名の出席。阪南市外部評価委員会条例第5条第2項の規定により、本日の会議は成立。 <p>金田副市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日、市長が公用のため出席できず、代理で参った。市長からメッセージを預かっているので、代読する。 ・公私共にご多用のところ、外部評価委員の就任をいただき、また、本日の外部評価委員会にご出席をいただきまして、心より御礼申し上げます。本市では、平成24年3月に策定した阪南市総合計画に掲げる将来の都市像「ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向け、基本目標として、7つの分野を設定し、42の施策を展開しているところ。 ・総合計画の進行管理については、毎年度、PDCAサイクルを活用した見直しを行っているが、行政内部だけではなく、第三者による評価を行うことにより、新たな視点で施策を検証し見直しにつなげるため、この外部評価制度を導入している。 ・現総合計画の計画期間が令和3年度までであることから、本年度から新総合計画の策定に向けて作業を進めており、外部評価委員会からいただいた評価結果を参考にしたいと考えている。 ・外部評価委員会では、引き続き、第三者の視点で、行政内部では気づき難いようなところを、ご指摘をいただきたい。それが、最終的には、本市のまちづくりの前進につながり、総合計画に掲げる将来の都市像の実現につながるものと考えているので、限られた時間の中ではあるが、委員の皆さまには、本市のまちづくりのため、お力添えを賜るよう、心からお願いを申し上げ、ご 	

挨拶とさせていただきたい。

2. 委員の紹介

事務局

- ・委員のご紹介。学識経験のあるものとして、委員長の壬生委員、副委員長の掛谷委員。市民として、尾川委員、木村委員、寺田委員。

3. 諮問

金田副市長

- ・今年度の行政評価について諮問するので、よろしくお願いします。(副市長から委員長に諮問書を手交)

4. 外部評価実施要領について

事務局

- ・資料1、阪南市外部評価実施要領(案)。基本的には、6月30日の勉強会でお伝えした内容と大きな変更はない。ポイントのみをお伝えする。
- ・資料の2ページの上段、第5 委員会の公開については、原則公開とし、評価に係る協議は非公開とする。また、会議録は、公開とする。
- ・第6 外部評価の視点の、(2)については、4つの視点に基づいて評価を実施する。詳しくは、のちほど、シートの見方と併せて説明する。
- ・第7 ヒアリングについては、これまで、効率的に委員会を進めていくために質問内容を事前質問票に記載して、概ね7日前までに事務局に提出していただく形をとっている。
- ・ヒアリングごとのスケジュールの概要について。1回目のヒアリングは7月22日(水)を予定しており、皆さまからの事前質問の締切は、7月14日(火)正午に、当日午後事務局でとりまとめて、20日(月)に委員の皆さまにメールでお返す。ヒアリング当日は、事前質問を印刷したものを用意しておく、担当課の回答も踏まえて、ご質問いただきたい。
- ・3ページ中段、③質疑応答時間については、本日決めるヒアリングする施策数によるが、30分程度となると考えている。
- ・下段、第9 評価方法については、★なしから★3つまでの4段階での評価としたい。なお、判定区分については、各区分にプラスマイナスをつける場合は、追記する。
- ・4ページ上段、第10 委員会の実施スケジュールについては、今回、コロナの影響で、本委員会の開催スタートが遅れたことから、ヒアリングの回数は、2回とし、全4回の委員会の議事等を記載。
- ・本日の委員会で当該案が承認されたら、要領の末尾に施行年月日として、本日の日付を追記して職員に周知する。

5. 外部評価施策の選定

事務局

- ・「阪南市行政評価(内部評価)令和2年度版」には、今回、内部評価を実施した、42の施策シー

トをすべて綴っている。この資料から、一部抜粋し、また、昨年度実施した評価と比較したものが、資料2の「内部評価結果一覧」。

- ・ヒアリングを行う施策の選定にあたっては、事務局にて、勉強会の意見等を踏まえ、委員長・副委員長と調整した事務局案として、12 施策を選び、「令和2年度 外部評価対象施策（令和元年度分）の候補選定について【事務局案】」として提示している。
- ・1日あたり、2施策するのか、3施策するのも含めて、選んでいただきたい。
- ・事務局案の選定にあたっては、昨年度に実施した住民意識調査項目中「阪南市の現状と今後の施策についての達成度と重要度」として、達成度と重要度がどちらも低いもの、2枚目にある表Ⅱのうち、重要度が平均値 2.30 以下、達成度が平均値 1.30 以下に該当する施策を選んだ。また、勉強会で皆様から意見があったものも選んでいる。
- ・内部評価としては、★2つが多い状況。
- ・1つ目としては、「市民協働社会の形成と促進」。この施策は、総合計画を推進する重要な施策。
- ・昨年度は、市民協働事業として、「市民協働事業提案制度」に加え、新たに「はなていアクション」及び「はんなん共創事業プランコンペ」を実施し、新たな公共の担い手の創出や公民協働のまちづくりを推進した。提案者にとって制度の区別がわかりにくいとの意見があり、制度運用の見直しが課題。また、今後は、新たな担い手の育成に向けた環境整備を行う必要がある。今年度から策定する次期総合計画においても、市民協働は、かなめの施策となる。
- ・2つ目、「情報発信の充実」。時代のニーズに柔軟に対応した情報発信力を高め、市民の市政への関心を高めるためには大変重要な施策。
- ・これまでに、Facebook、Twitter、Instagramなどを活用して、発信の強化に努めてきた。広報はんなんについては、特集記事や「阪南でがんばる」等の地域の魅力や阪南市でがんばる人についての問合せや、読みやすくなったという声が増加しているが、ウェブサイトについては、スライダー画像や緊急情報コンテンツのさらなる活用など、市民が欲しい情報にたどり着きやすい工夫が欠かせないと考えている。成果指標のウェブサイトアクセス件数が目標値と実績値でかなり乖離があるが、これは、目標数値の基準となった現状値では、Facebookでの広告掲載を継続する前提で数値を定めたものの、平成29年度以降広告掲載を取りやめたことが大きな要因。
- ・3つ目、「歴史・文化の保存と継承」。
- ・これまで市内に残る文化財を調査・収集・保存し、そのうち、とくに重要と思われるものを市指定文化財に指定しているが、本年4月には、長年の課題であった質量ともに膨大な古文書について、市指定文化財に指定した。年々増加する文化財資料について、保管の分散化の解消に至っていないことから、保管施設の整備が課題。
- ・4つ目、「国際化の推進」。住民意識調査で、観光の振興の次に、市民としての重要度が低い施策だが、多文化共生や、外国人が快適に暮らせるよう、市民と交流する場の拡大と充実が必要。
- ・市としてもあまり取り組めていないのが現状。内部評価は、★1つ。また、海外からの誘客である、インバウンドなどについては、コロナ禍のなか、今後の課題もある。
- ・5つ目、「観光の振興」。勉強会で意見があった施策。住民意識調査では、市民としての重要度、達成度ともに低い施策。
- ・昨年度は、阪南市観光協会と連携し、観光資源を活かした着地型観光・体験プログラムを主軸とした、市内での観光プロモーションを実施。ただ、未だマーケットにおける阪南市の認知度は

低い状況であり、また、コロナ禍を踏まえた対応が課題。指標の目標も達成できておらず、内部評価は★1つ。今年度は、7月開業予定の大型お菓子工場兼店舗での、工場見学やお菓子作り体験をもって、既存の観光資源と併せ、食と体験を中心とした観光PRを実施する予定。

- ・ 6つ目、「商工業の振興」。住民意識調査で、観光の振興の次に、市民としての達成度が低い施策。
- ・ 昨年度は、市内の創業者の掘り起こしや企業活動の支援として、国の交付金を活用し、台湾をターゲットに、販路開拓の支援を実施。また、台湾の地方都市との連携を視野に入れたトップセールスを行い、パンフレット配架協力など継続的な交流について書面にて協力依頼を行い快諾いただいた。しかし、商業の活性化としては十分とは言えない状況。コロナ禍で、企業活動が低迷しているため市内経済の再生・活性化に向けた取組みが必要。
- ・ 7つ目、「農業の振興」。
- ・ 遊休農地対策、農業用施設の維持管理、有害鳥獣の駆除などを行い、農空間の保全と農業経営の安定化を図っているところ。しかし、従事者の高齢化や農業規模の小ささにより、認定農業者数は減少、新規就農者数は伸び悩んでいる状況。担い手や新規就農者の掘り起こしを推進することが今後の課題。
- ・ 8つ目、「柔軟な行政経営の推進」。行政経営室が所管する施策であり、総合計画のかなめである「行政経営のしくみづくり」を推進するうえで、重要な施策。施策の成果指標にある「基本計画に掲げた成果指標の平均達成率」は、実績値が目標値と大きく乖離。今後もさらなる施策の推進が必要。
- ・ 総合計画の実効性をさらに高めるため、施策展開にあたっては、「協働によるまちづくり」を推進し、各施策のめざす姿の実現に向け、基本計画で定めている市役所、市民それぞれの活動主体の役割を示している。総合計画をはじめ、まちづくりの仕組みについて、特に、これまでまちづくりに無関心な層が多い若い世代に対して、市政への参画意識を高揚させる方策の検討が必要。
- ・ 次に、勉強会で、委員から意見があった施策をピックアップ。
- ・ 「生涯学習の推進」。図書館や公民館も含まれている施策。
- ・ 生涯学習推進計画に基づき、計画の推進に向けた取組を実施し、各種団体・生涯学習関連施設等と連携して取り組んでいる。各施設の老朽化が課題。中央公民館体制の構築については、現在、具体的な検討を進めている。
- ・ 「公共交通の利便性向上」。
- ・ 昨年度は、阪南市公共交通基本計画に基づく事業展開のため、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会として、「阪南市地域公共交通会議」を設置。「阪南市公共交通基本計画」における基本理念を実現し、今後も持続可能な公共交通の実現を図るため、令和2年3月に「阪南市地域公共交通網形成計画」を策定。
- ・ また、尾崎駅周辺については、歩行者の安全確保と駅前の活性化に向けて、社会実験として、駅前道路一方通行化を行った。なお、尾崎駅前地区周辺整備における事業推進にあたっては、事業手法や事業コストの検討が必要。
- ・ 「人材育成と適切な人事管理」。
- ・ 昨年度は、職員研修計画に基づき知識・技術の向上に必要性の高い研修を効果的に実施するとともに、研修の効果を検証するため実施したフォローアップアンケートを、次年度の研修計画

を反映した。また、市独自のインターンシップ制度を実施したほか、部長級の人事評価結果を勤勉手当に反映し制度を構築。さらに、会計年度任用職員制度の導入に向け、条例や規則、運用の整備を行うとともに、職員説明会を開催し、庁内に周知することにより、スムーズに制度導入した。

- ・「持続可能な財政運営」。
- ・安定した財源の確保のため、ふるさと納税では、返礼品の追加やポータルサイトの新規開設に加え、ふるさと納税に特化したイベントへの出展や過去の寄附者へ対し情報発信を行う等、広報戦略に重きをおいた施策を実施した結果、本市特産品の周知及びPRができ、令和元年度の寄附受入金額は、約2億5千万円となった。多様な広報媒体を利用し、情報をクロスメディア化することで情報発信力を強化し、各々の広報媒体の価値の向上や収入の獲得を図っている。
- ・市税徴収率については、成果指標を目標どおり達成でき、安定した財源の確保に努めた。
- ・安定した財源のより一層の確保と「選択と集中」に基づく行財政運営のために設定した目標の達成に向け、「阪南市行財政構造改革プラン」に基づき取り組みを進めた結果、経常収支比率は一定良化している。しかしながら、依然として財政状況が厳しく、経常収支比率に飛躍的な改善が見受けられないことから、歳出の更なる効率化や、安定的な財源の確保を図る必要がある。
- ・施策の選定については、資料3の令和2年度 外部評価対象選定方針（案）の対象施策を選定する際の留意事項にあるように、（1）対象施策が特定の分野に偏ることが無いようにすることや、（2）施策の主担当課に偏りが生じないようにすることに留意して、選定いただきたい。
- ・資料6、評価の実施方法（案）（令和2年度 外部評価委員会資料）について、重要となるポイントを中心に説明する。
 - ・1. 外部評価を行う上での留意事項。外部評価の目的などを記載。対象について、「施策シート」に記載している「指標の分析」「施策の達成状況」、「内部評価結果」に加え、シートの見直しにより、「改善・見直し」の項目を追加。（4）備考にもあるように、総合計画の実効性を高めるため、外部評価の結果を踏まえて総合計画及び行政評価制度について、意見・提言が可能となっているので、様々な視点からご提言等をいただきたい。
 - ・2. 「施策シート」の検証順序、3. 「施策シート」の検証方法。施策シートを検証する際にチェックしていただくべき事項を整理。検証の順序としては、「指標の分析」⇒「施策の達成状況」⇒「内部評価結果」⇒「改善・見直し」というように検証をお願いします。
 - ・施策シートの検証方法として、次のそれぞれが妥当かを検証いただきたい。
 - （1）「指標の分析」：①から③に加え、④指標の進捗状況（前年度からの増減理由など）
 - （2）「施策の達成状況」：①施策の達成状況（できたこと）、（できなかったこと）が把握できているか。
 - （3）「内部評価結果」：①「指標の分析」と「施策の達成状況」に基づき、施策の現状を適正に評価できているか。②施策に掲げる「市役所の役割」を果たしているか。
 - （4）「改善・見直し」：①★3に向けた改善・見直し内容（今後の展開の方向性）が妥当か。
- ・シートをチェックするにあたり、さらに詳しい説明が必要と感じられた事項、別途資料の提出が必要な場合につきましては、事前質問票に記載いただきたい。
- ・4. 「判定理由」の記載事項及び記載内容。
- ・（2）記載内容については、施策の所管部局などが令和元年度、実施してきたことに対する過去

への評価として、①から③と、提案や提言、指摘事項などのこれからのこと、未来への評価として、④と⑤の、大きく2つに分かれる。過去への評価に加えて、提案や提言、指摘事項などをいただくことで、来年度の施策の見直しに向け、各担当課の取り組みを促進することができるものと考えている。

- ・最後に、「評価の実施方法（案）」としてご提案しているが、ヒアリングを実施する第2回から第3回の委員会では、当案を参考資料として活用いただき、ヒアリングの結果を踏まえ、評価のとりまとめを行う第4回の委員会の冒頭にて、当資料の可否を決定していただきたいと思う。

【質疑等】

委員長

- ・会議の公開非公開について。今年度の外部評価委員会は、説明は公開、判定区分は非公開、に異議はないか（異議なしを確認）。
- ・評価の結果については、会議録も一緒に市民の皆様に公開する方向。

副委員長

- ・質問票について、要領では1週間前までに提出とのことだが、実際の会議では、追加質問はしてもよいか。また、事前回答で納得した場合は、委員会の場で聞かなくていいのか。

事務局

- ・そのとおり。

委員長

- ・事前質問については個別回答が基本だが、大事なことやよくある質問は、担当課による冒頭説明に組み込まれる予定。追加質問があれば、委員会の場で尋ねてもよい。

委員

- ・1日にヒアリングする施策はいくつをイメージしているか。

事務局

- ・2施策。勉強会の時は3施策を想定していたが、質疑の時間を長くしたいとのご意見を踏まえて案を作成したもの。ヒアリング施策数については、本日も議論いただきたい。

委員長

- ・当日質問では回答が難しい場合もある。なるべく事前質問で。

事務局

- ・質問の内容によって担当者が異なる場合もあるので、出席者で対応できない場合もある。ご協力いただければ。

委員長

- ・実施要領については、これでよいか（異議なしを確認）。
- ・次、ヒアリングする施策について。ご意見はあるか。

委員

- ・昨年生まれた子供が260名弱と聞いている。小学校の数を考えると、1校1学年40人の時代が来るが、学校の統廃合や統廃合をどう考えているかが重要な視点となるのでは。
- ・また、引きこもりの子どもや大人が、阪南市でも1,000人くらいいると聞いている。今は親の年金で食べさせていても、行く末は生活保護。引きこもりの人たちのために税金を使っていく

時代が来ていることについても、重要な視点だと考えている。

委員長

- ・委員のおっしゃる視点については、施策が多岐にわたる可能性が高い。今回は、計画に上がっている施策から選択することとしたい。

委員

- ・観光の振興の501。指標の分析について、わんぱく王国の入場者が、元年度に回復して平均を上回っていることの原因がわかれば。

事務局

- ・利用者数は、天候に左右される傾向にある。わんぱく王国の利用者数が一番多い桜祭りの時期の天候が、大きな要因になる。

委員

- ・何かを整備したということはないか。

事務局

- ・特に聞き及んでいない。

委員

- ・みさき公園の代替として来場者が増えた等ではないのか。

事務局

- ・指標の分析の2つ目に、平成30年の利用者が少なかったことについて担当課の分析を記載しているので、ご参照いただきたい。

委員長

- ・施策の選定とは直接関係ないが、資料4の指標は何が基になって定められたものか。関連する施策や事業とある程度関連する指標か。

事務局

- ・前期の住民意識調査に載せた指標だが、後期には載せていない。

委員長

- ・個々の施策の目標とあまり整合性が取れていない指標を基準にするとずれていくので、指標だけに引っ張られないよう、注意をしたいと思います。
- ・他にご質問は。ないようであれば、施策の選定に入る。

委員

- ・住民意識調査のグラフについて、ステージ2は重要度・達成度が両方低いもの。これらが低い施策は取り上げないといけませんが、ステージ2から1つか2つを選ぶというのはどうか。
- ・勉強会での皆さんの話と現状を考え併せると、403生涯学習の推進は非常に重要だと思う。会社を定年退職したあと、残りの人生をどう生きるかという教育が遅れていると感じている。公民館などで、習い事やクラブ活動は活発にやっているが、生涯学習、たとえば住民自治を学ぶなど、そのような取り組みは遅れていると思う。そういうことについて意見を言う機会がほしい。
- ・公共交通の利便性も取り上げたい。阪南市の現状を考えた場合に、病院やスーパーは尾崎に集中している。高齢化すると、病院に行くのに大変な思いをしたりすることへも、対応が必要。
- ・地域の防災の推進も取り上げたい。今も九州の方で災害が発生している。阪南市でも、一昨年台風15号で被害が大きかった。安心安全のまちでなくなった、という印象がある。地域防災の

推進のあり方や、今のやり方でいいのかというのを検討したい。

副委員長

- ・財政運営、生涯学習、観光。何をするにしても、財政の裏付けがないとできない。生涯学習についても、今後やらないといけないことがあると思う。今年度はコロナ禍があるので難しいかもしれないが、観光に関しては、シートを見ても、これでいいのかと思うところもある。

委員

- ・同じく、生涯学習が重要だと考える。あと、公共交通。ほかにもあるが、その2つが優先。

委員

- ・財政運営、行政経営、観光振興の3つ。

委員長

- ・私は、情報発信と観光と財政運営と、生涯学習の4つを考えている。
- ・今の意見を総合すると、生涯学習は確定。財政運営と公共交通が多数派なので対象施策としたい。
- ・あと何個選ぶかだが、トータルでいくつの施策をヒアリングするかを決めたい。情報を得るには、質疑の長さではなく質が重要だが、このメンバーでの外部評価は初めてなので、少ないに越したことはなく、4施策程度がいいとは思う（賛成の声あり）。
- ・そうなると、選定できるのはあと1つ。701の行政経営は財政と同じグループなので、あえてそこを外して、財政を中心にみるのはどうか。また、観光を入れるか。

委員

- ・5の施策グループは、阪南市でうまくいっていないグループ。うまくいっていないところから一つ選ぶのはどうか。
- ・この中では、農業の振興を推したい。これだけ肥沃な土地で気候が良くて、農業が育たないのはなぜかと思う。力を入れればいい産業になるのではないかと期待している。

委員

- ・農業の施策シートを見ると、農家数・認定農業者数が令和元年度までに半分と減少傾向にある。これについて理由は。

事務局

- ・阪南市の専業農家は少なく、昔から兼業農家が多い。農業振興に力を入れるには、専業農家の数が近隣市に比べても少ない。さらに、後継者不足でもある。
- ・生産緑地として市街地の中で農作業をしているところについては、固定資産税が期限付きで安くなる。期限は30年間。この2・3年、期限が切れる土地を手放す人が増えている。期限の切れるタイミングを逃すと、また10年単位で手放せなくなるためかと思われる。

委員長

- ・実際、市として農業にどれだけ力を入れようとしているのか。

事務局

- ・力をいれても、それがどこまで施策の達成につながるかというところ、難しいところ。現状を外部評価として評価していただくのもひとつだと考えている。
- ・市民からの目で見ると、評価は低い。特産品を作っている人もおり、市役所の中では評価が比較的高いが、市民の評価と乖離している。

委員

- ・ひきこもりの人などが農業に従事したりすると元気になるということもある。働く場を求めているが、居場所がない人もいる。そういうところとつなげていければいい。農業やっている方が家族以外に後継者を見つけてもらえるよう、市もバックアップしていただければ、後継者不足の解決策になる可能性がゼロではない。淡輪の方で既に実施していると聞いている。
- ・リモート農園についても、今後考えていく必要があるのでは。

委員長

- ・今の議論を踏まえると、ヒアリング施策4つのうち残り1つを農業か観光で選択することとなる。
- ・他に意見があった施策については、来年の対象とすることを視野に入れたい。例えば防災は、2年前まで毎年対象にしていた。今は、コロナ禍の影響で市民を巻き込むことが難しいので、ヒアリングを来年にしてもいいと思う。

委員

- ・今年度から、防災コミュニティセンターが業務委託になったと聞いている。

委員長

- ・今年度からの委託なら、来年に対象にした方が実績を聞き取れるのでよいのでは。
- ・観光と農業のどちらを選択するか。ほかの選択肢も含めて、意見はあるか。

事務局

- ・観光については、今コロナなので、観光に力を入れるのが難しい状況。ヒアリングする場合には、事情を汲んでいただきたい。

委員長

- ・農業は制度的な話があるので、評価が難しいと思っている。

副委員長

- ・個人的には、観光を推したい。コロナ禍というのはあるが、シートを見ていると、いくつか言いたい意見もある。
- ・どちらも大事だとは思っているので、観光を今年選んで来年に農業を選ぶという考え方もあると思う。

委員長

- ・観光は、内部評価が星ひとつ。担当課も、あまり進んでいないと評価しているということ。私たちの目で見ても同じだということを検証し、実は2だと言ってあげられる可能性もあることには意味がある。

委員

- ・まちの活力創造課はすごくがんばっている、これからがんばろうという意欲もあると思っている。話を聞いてみたい。

委員

- ・観光を推したい。シートに、お菓子工場について書いている。よく観光に行くと、そういうところを回ったりするが、泉州や和歌山市内にそういう人を集められるところは少ない。

委員

- ・私は農業がいいと思うが、優先順位では、必ずしも今年でないといけないという訳ではないと思う。

- ・うまくいっていないところというのは、市として困っているところだと思う。毎年ひとつは取り上げるという形はどうか。

委員長

- ・うまくいっていないところばかりを取り上げるのではなく、バランスよく選んでいきたい。
- ・農業もそうだが、人事・行政運営・防災・学校教育などについても、大切な課題がたくさんある。この部分については、来年見返せるように、議事録に記載しておいてほしい。
- ・では、今年は、1年目ということもあり、全部で4つの施策について対象とし、501 観光の振興、403 生涯学習の推進、606 公共交通の利便性の向上、701 持続可能な財政運営 の4つにすることかどうか（異議なしを確認）。
- ・2日間の割振りは、担当課と調整の上、事務局から連絡をもらえるとのこと。

事務局

- ・事前質問票の記載方法について説明する。
- ・施策名には、本日、選んでいただいた施策のうち、質問したい施策の名称を記入。
- ・次に、質問内容については、シートを確認いただき、さらに詳しい説明が必要と感じられた事項、別途、資料の提出が必要な場合など、委員の皆さまが事前に質問したい内容を記載。事前質問票を事務局に提出したのちに気付いた事項は、ヒアリングにてご質問を。
- ・先程決まった選定施策については、関係部課と調整のうえヒアリングの日程を7月8日（水）ごろに通知する。
- ・ヒアリング毎の事前質問票の提出期限は、参考資料1に掲載。
- ・提出方法につきましては、メールにて、事務局に送付してほしい。
- ・資料5 施策シートの見方について、説明する。
- ・成果指標は、総合計画の中から目標の数値・実績値を記載。今年度は、R1のところに入っている数値を内部評価に用いている。
- ・指標の分析は、数値の増減について、担当課が分析した結果を記載。
- ・5は施策の達成状況。この辺りを踏まえて、ご質問等いただければと思う。
- ・続いて、メインとなる内部評価の欄。今までの説明、成果指標、分析、出来たことできなかったことなどを踏まえて、担当課の判定とその判定理由を記載している。
- ・外部評価の欄は今空欄だが、ここに外部評価委員としての評価の結果を入れていく。
- ・総合評価は、それらを総合して記載する欄。残りの38 施策については外部評価は空欄のまま、総合評価を記載するという形になる。
- ・次年度の方針については、次年度からどう変えていくのかという方針を入れる。
- ・10の実施計画には、令和2年度の取組方針、昨年度決定した今年度の取組方針を記載。ただし、コロナの影響を受け内容を変えて実施している課もあると思うので、そのあたりはヒアリングで尋ねていただきたい。
- ・施策を構成する事務事業を一覧としている。施策を進めるために市がどのような事業を実施しているのか、という目線で見えていただきたい。事務事業シートについては、続いて説明する。
- ・事務事業シートについて。メインとなる事業の内容を記載しているので、個別の事業を、誰に対し、どのような形で、どのような手法で行っているかを確認するときはこちらを使っていたきたい。主な内容と目的を重点に見ていただくことになると思う。

- ・このシートの「令和2年度取組方針」については、昨年度策定したもの。担当課評価については、内部評価を踏まえて、細かい事業について、担当課が付けた評価となる。予算見込額は現状の見込み。事業に費やしている費用のご参考になるかと思う。
- ・各事務事業について、平成30年度から取り組んでいる行財政構造改革プランについての取組みについて、関連する事務事業に記載している。
- ・中身の詳細等は、不明な点があれば気軽に問い合わせいただきたい。

6. その他

事務局

- ・第2回外部評価委員会は7月22日（水）、18:30～、場所が別棟2階の第4会議室で開催。

壬生委員長

- ・資料6の裏、4について、委員各自で作る必要があるものではなく、外部評価委員会としての報告書を出すときに書く必要があるもの。一人一人得意なところをそれぞれしっかりヒアリングして、5人の視点から多様な面で材料をしっかり集めたい。文章については、私と事務局で調節する。
- ・ヒアリングでは、担当課から情報を引き出して、我々である程度の評価の合意を得ることを目標とする。経験上、意見が割れる場合が想定されるが、その場合は委員長預かりにさせていただきたい。判定理由を書いてみて、その文章を見て、4回目にもう一度星の数を検討するというやり方にしたい。
- ・気負わず、1回目のヒアリングに参加してほしい。

以上